

1 題材名 探検！発見！絵画の世界 –アイマスクで鑑賞会–

2 目標

- 自分なりの作品のよさや美しさ，込められた思いを感じ取り味わおうとしている。  
(美術への関心・意欲・態度)
- 自分なりの感覚を働かせ，作品のよさや美しさ，込められた思いを感じ取り，見方を深めることができる。  
(鑑賞の能力)

3 指導に当たって

本題材は，見る視点を明確にして作品を鑑賞する活動を通して，自分なりの作品のよさや美しさ，込められた思いを感じ取ったり，生徒同士が自分の見付けた新たな感じ方を伝え合ったりしながら作品の見方を深めていくことをねらいとしている。アイマスクを使用することで，視覚から作品の情報を得ることができない鑑賞者にどんな作品であるかをイメージさせるために，説明者は積極的に作品を語る「言葉」を探し出して説明しなければならず，おのずとしっかりと視点を据えて作品を鑑賞する姿勢と言葉で表現する力が育まれることが期待される題材である。また，鑑賞者と説明者にとに分かれて作品の鑑賞を進めていく学習形態は，生徒主体の能動的な鑑賞活動につながるものと考えられる。

本学級の生徒は美術への興味・関心が高く，発想力や表現力の豊かな生徒が多い。特に，友人や著名な画家の作品を鑑賞することに高い関心を示し，「鑑賞の学習は好きですか」というアンケートにはほとんどの生徒が「好き。楽しい。」と答えている。一方で，「見付けた作品のよさや美しさ，表現意図，特徴などを友人に伝えられるか。」の質問に対しては，「伝えるのが難しい。」、「伝えられない。」と答える生徒が多く，このことからこれまでの学習指導の中で，作品から感じ取ったイメージとそのイメージを他者に伝える言葉とを結び付け，鑑賞活動を豊かにする手立てや工夫が十分ではなかったことが考えられる。

そこで，本題材ではこのような生徒の実態を考慮し，アイマスクの鑑賞者に説明者となった生徒が形や色などの造形的特徴を示す言葉を探し出して伝えていくといった言語活動を充実させた学習を展開する。言葉にすることで，よさや美しさの要素を明確にし，作品のイメージと結び付け，相手に伝えることができるようにする。生徒同士が言葉を使って作品についての意見を交流することで，自分一人では気付かなかった価値などに気づき，よさや美しさを感じ取る活動は，自分なりのイメージを基に，思考・判断し，表現する力を育てることができると考え，本題材を設定した。

鑑賞の経験，基礎的能力に関する調査 (平成22年6月17日 第1学年2組 31人実施)

1	小学校の図画工作の時間に，鑑賞の学習をしたことはありますか。(友人との相互鑑賞も含めて)	ある 2人	ない 0人	覚えていない 4人	友人の作品を鑑賞したことがある 25人	
2	鑑賞の学習は好きですか。	好き 19人	好きではない 4人	どちらでもない 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいし色々な発想が見られる</li> <li>・個性がある</li> <li>・何が描いてあるのか見るのが好き</li> <li>・絵を見るのが好き</li> <li>・興味がない</li> <li>・どういうことが描いてあるのか分からない</li> <li>・つまらない</li> <li>・絵を見ても分からない</li> <li>・意味が分からない</li> <li>・絵は難しい</li> <li>・描かれている意味が分からない</li> </ul>	
3	次の絵を鑑賞しましょう。あなたは絵画を見るときに，どんな点に視点を置いて見ましたか。	1 何が描かれているのか 9人	2 描かれているものの意味も考えて 7人	3 描かれているもののつながりやその意味 1人	4 制作した作者の気持ち 6人	5 自分なりの考えももって全体を見た 8人
<b>鑑賞の基礎的能力(*NYカットを基盤とした分類)</b>						
初級(1~2) 16人						
中級(3~4) 7人						
上級(5~) 8人						
<b>※グルーピングに活用</b>						

4 鑑賞の学習でやってみたいことは何ですか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことを話し合う授業</li> <li>・友人の作品の鑑賞</li> <li>・美術館に行きたい</li> <li>・楽しく分かる鑑賞授業</li> <li>・鑑賞するときのポイントを知りたい</li> <li>・好きな分野の絵をたくさん鑑賞したい</li> <li>・友人の作品をみんなで見合い、感想を話し合いたい</li> <li>・どんな気持ちで描かれたのか読み取りたい</li> <li>・画家の絵の模写をしてみたい(気持ちに近づけよう)</li> <li>・絵画だけではなく写真やお菓子のパッケージなども鑑賞したい</li> <li>・西洋の絵画と日本の絵画を比べたい</li> </ul>

## NY (ニューヨーク) メソッド・ビジュアルシンキングカリキュラム

段 階	鑑賞する目的の発達段階の内容
第1段階	描かれているものだけの鑑賞。作品と制作意図を連動して(まだ)見ていない。
第2段階	第1段階に加え、鑑賞経験が増えて作品について学ぶための方法を欲するようになる。
第3段階	鑑賞だけでなく美術史上の分類を重視するなど、作品についての知識を欲するようになる。
第4段階	表現などに関する知識を踏まえた上で自分の感性を踏まえた解釈ができる。
第5段階	美術史や表現の種類などを熟知しており、作品と対話するかのような思索ができる。

※ マサチューセッツ美術大学教授アビゲイル・ハウゼンの理論を基に、ニューヨーク近代美術館が組み立てた実践的な鑑賞指導用メソッド。鑑賞者の鑑賞力を「見えている」ものより5段階に分類する方法。

### 4 本時の学習

#### (1) 学習計画及び評価計画 (1時間扱い)

時	学習活動・内容	関・意	発・構	技 能	鑑 賞
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のよさや美しさなどを感じ取り、味わうことを楽しむ。</li> <li>・感じ取ったことをアイマスクを付けた相手に分かりやすく伝える。</li> </ul>	○			○

〔共通事項〕 の視点から	・形や色彩などの特徴や印象などから、全体の感じ、よさや美しさ、作者の心情を感じ取る。
-----------------	--

#### (2) 学習の流れ

##### ア 準備・資料

教師…アイマスク、ワークシート、アートカード、複製画(アンリ・ルソー『熱帯-密林の猿-』)、アドバイスカード

生徒…教科書、資料集、筆記用具

##### イ 学習活動全体の展開

時	学習活動・内容	
1	<p>本時の課題をつかむ。</p> <p><b>アイマスクを使って鑑賞会をしよう。</b></p> <p>(1)複製画(アンリ・ルソー)「熱帯-密林の猿-」を鑑賞し、鑑賞の方法と視点を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表生徒による鑑賞の実演</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導、○手立てを講じた学習場面での評価、◇言語活動の充実の視点から、◆努力を要する状況の生徒への手立て</li> <li>・導入で扱う鑑賞作品は、黒板半分の大きさに拡大し、活動が始まるまで布で覆い作品への関心を高める。</li> <li>・鑑賞の進め方を全員で確認するために〔共通事項〕等で示す要素の多いアンリ・ルソー作「熱帯-密林の猿-」を用いる。</li> <li>・鑑賞者と説明者が互いに協力して活動を進めていくことを強調し、協力し合うことでよりよい鑑賞ができることを押さえる。</li> <li>◇形や色彩、表現方法、表現意図等の鑑賞の視点を掲示資料を示しながら、明確にする。</li> <li>・鑑賞するアートカードを選択する際、鑑賞者にはどんな作品を選んだのかが分からないようにするよう助言する。</li> <li>・アートカードは、写真や抽象画等多様な表現を用意する。</li> </ul>

1	<p>(2) 学習全体の流れを理解する。</p> <p>2 アイマスクを使用した鑑賞を行う。  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">[ ]は予想される生徒の反応</span>  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・暗い感じがする。 ・静かな休日のような。</span>  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・筆のタッチが生き生きとしている。 ・混色や重色をしている。</span>  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・全体の色から季節は春だと思ふ。 ・人物の表情から、～をしているところだと思ふ。</span>  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・この○は、△を表していると思ふ。 ・作者が言いたいことは～ことだと思ふ。</span></p> <p>3 本時の活動を振り返る。</p>	<p>◇二人の説明者が、順番に作品について補いながら説明することで、見方を深めながら鑑賞を進めることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更に詳しく聞きたいときは、アイマスクの鑑賞者が質問をしてよいことを伝える。</li> <li>・アイマスクの鑑賞者が描かれていることを当てるのが活動の目的ではないことを理解させる。</li> <li>・グループ編成は、予め調査しておいた鑑賞の基礎的能力を考慮し差がないようにしておく。</li> </ul> <p>◆説明が続かないグループには鑑賞の視点を示したアドバイスカードを確認させたり、適切な助言をしたりしながら支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一回目の鑑賞が終わったところで、各グループの鑑賞した内容を確認し、見方や感じ方の相違や他グループの説明のよさに気付かせ、二回目の活動につなげる。</li> </ul> <p>◇自分なりのイメージをもち、「作品をとらえる言葉」を見付け鑑賞者に伝えられるようにしたり、足りない説明を補足したりできるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○【関心・意欲・態度】(観察) 自分なりの作品のよさや美しさ、込められた思いを感じ取り味わおうとしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○【鑑賞の能力】(ワークシート) 自分なりの感覚を働かせ、作品のよさや美しさ、込められた思いを感じ取り、見方を深めている。</p> </div> <p>◆見方のポイントが分からなかったり、作者の思いを感じ取ることができなかったりする生徒には、形や色彩からキーワードを見付けるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイマスクを使用した鑑賞を体験したり、作品の説明をしたりする活動を通して気付いたこと等をワークシートに記入することで、鑑賞の楽しさを実感させる。</li> <li>・多様な視点から見ることで、鑑賞に深まりが出てくることに気付かせ、今後の鑑賞や表現の活動に生かせるようにする。</li> </ul>
---	--	--